

猛暑でも企業元気

喉ごし工夫の酒／熱中症予防サプリ

石川県内の食品関連企業が、夏向け商品を相次いで発売した。暑さを商機と捉えて、新たな需要の掘り起こしを目指す。(村上豊)

加賀地酒「常きげん」 鹿野博通社長は「日本酒の鹿野酒造(加賀市)の販売が苦戦する夏の需要を拡大したい」と意気込み、冷やして飲む純米原酒の生貯蔵酒「涼純」を夏向けに開発、北陸三県で七百二十ミリリットル入り千三限定で出荷を始めた。通百円。

常二回行う火入れ(殺菌作業)を一回にし、喉ごしを爽やかに仕上げた。同社の弁当は、開けたときの感動を重視して中の野菜が入った「野菜たっぶり弁当」に抑えた。

鹿野酒造の「涼純」 アトラスの「塩ファイトプラスサプリ」



芝寿しの「野菜たっぶり弁当」

食欲そそる弁当も 石川で商品続々

健康食品を販売するアトラス(小松市)は、熱中症対策で塩分を補給する錠剤「塩ファイトプラスサプリ」を発売。能登の天然塩を使用していて、金沢学院大の平下政美教授(スポーツ医学)が監修、サッカーJFLのツエーゲン金沢の選手から協力を得て開発した。

松多伸悟社長は「スポーツや工場労働などで汗をかいたときに飲んでほしい」と話す。一日に一回、四錠を水と一緒に飲む。一箱(八十錠)で三千百五十円。

「つぶり弁当」(六百八十円)を八月末まで北陸三県の三十五店舗や羽田空港で販売する。加賀太きゅうりやオクラ、カボチャ、ナスなど夏が旬の野菜と三種類(玄米、赤米、野沢菜)のおにぎりを組み合わせ、五百四十四キロに抑えた。